

'17.4.-1

# 矢崎財団 リチウム電池など研究に 助成・援助金を贈呈

矢崎科学技術振興記念財団(尾崎護理事長)は、「新材料」「エネルギー」「情報」3分野を対象に平成28年度研究助成金受領者、国際交流援助受領者、特定研究助成金受領者、矢崎学術奨励賞受賞者を決定し先頃、都内で贈呈式を実施した

(写真)

研究助成のうち、一般研究(200万円)には「リチウム・硫黄二次電池の高容量化のための多孔質炭素電極の調製」(稲垣怜史)



横浜国立大学准教授)は、若手研究者対象の奨励研究(100万円)には

「錯体化学的アプローチによる金属含有カーボン材料創成」(酒田陽子金沢大学理工学系助教)はじめ10件(48件)、特定研究(1000万円)には「真空ナノギャップを

用いた常温熱電子発電・冷却デバイス」(土屋智由京都大学大学院)が決定した。

また国際的な学会で論文や共同研究発表する際の渡航費を援助する国際交流援助は17件だった。矢崎学術奨励賞には、鈴木健仁茨城大学工学部講師が受賞した。